札幌 SAPPORO 1972

所蔵：札幌オリンピックミュージアム

所蔵：札幌オリンピックミュージアム

所蔵：札幌オリンピックミュージアム

所蔵：札幌オリンピックミュージアム

昭和 100 年記念企画展

札幌 1972 大会から 長野 1998 大会へ

昭和から平成へ。
冬のオリンピックの記憶を振り返ります。

2026 10.10 (土) → 12.27 (日)

札幌オリンピックミュージアム 1 階特別展示コーナーほか

【開館時間】10 月：午前 9 時～午後 6 時（最終入館：午後 5 時 30 分）
11・12 月：午前 9 時 30 分～午後 5 時（最終入館：午後 4 時 30 分）
【観覧料】無料（※高校生以上は入館料が必要）
【主催】札幌オリンピックミュージアム（株式会社札幌振興公社）
【後援】スポーツ庁、札幌市、札幌市教育委員会
【協力】公益財団法人日本オリンピック委員会、長野オリンピックミュージアム、
独立行政法人日本スポーツ振興センター 秩父宮記念スポーツ博物館

SAPPORO OLYMPIC MUSEUM

昭和100年

©1998 / 国際オリンピック委員会 (IOC)

©1998 / 国際オリンピック委員会 (IOC)

©1998 / 国際オリンピック委員会 (IOC)

©1998 / 国際オリンピック委員会 (IOC)

長野 NAGANO 1998

昭和100年
1926——2026

昭和100年記念企画展

札幌1972大会から長野1998大会へ

昭和という時代は、日本が国際社会へ本格的に復帰し、スポーツを通じて世界とつながっていった時代でもありました。なかでも、オリンピック・パラリンピックの開催は日本のスポーツ文化と都市の発展に大きな影響を与えてきました。

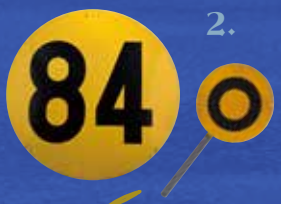
本展では、昭和100年という節目にあたり、日本で開催された2つの冬季大会に関する貴重な資料や映像・音声で振り返ることで、昭和の時代背景、技術革新、選手たちの挑戦、そして大会が社会と人々に与えた影響を紹介します。

昭和を知る世代には懐かしさと再発見を。若い世代には新たな学びを。

本展でしか見ることのできない当時の貴重な資料を、ぜひご覧ください。

SAPPORO 1972

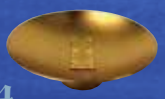
1.



2.

笠谷幸生選手がジャンプした時の飛距離板！

3.


4.

5.

なかなかお目にかかれない
パラリンピックの聖火トーチやメダルも！

6.

7.

8.

9.

10.

NAGANO 1998

約180点の実物資料に加え、大会当時の競技映像や写真も多数展示します！
また、懐かしい大会テーマソングも聞くことができます！

1．高石 IOC 委員のことば録音テープ
2．飛距離板
3．閉会式別れの演技要員ユニフォーム
4．金杯（公式エンブレム）
5．荒井理選手（リュージュ）着用ゼッケン
6．カーリングユニフォーム（敦賀信人選手着用）
7．長野オリンピック記念貨幣（スノーボード、フリースタイルスキー、ボブスレー）
8．長野 1998 パラリンピック日本選手団ユニフォーム（永瀬充選手着用）
9．長野 1998 パラリンピック聖火トーチ（所蔵：長野オリンピックミュージアム）
10．長野 1998 パラリンピック入賞メダル（所蔵：長野オリンピックミュージアム）

SAPPORO OLYMPIC MUSEUM 札幌オリンピックミュージアム

〒064-0958　北海道札幌市中央区宮の森1274番地　TEL（011）641−8585

■交通案内■
地下鉄東西線「円山公園」駅下車後、円山バスターミナルから路線バス「くらまる号」に乗車し約15分、「大倉山ジャンプ競技場」到着。
※バスの運行詳細はJR北海道バスHPをご確認ください。

■利用案内■
開館時間 / 9：00～18：00（最終入館17：30）
入館料 / 大人670円、中学生以下無料、65歳以上の方は500円
駐車場 / 大型車15台、普通車113台収容（駐車料金は無料）

https://sapporo-olympicmuseum.jp